

令和2年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立児童院（児童心理治療施設）
施設所管課・担当	こども青少年局こども家庭課要保護児童グループ
条例上の設置目的	児童福祉法第43条の2に基づき児童心理治療施設を設置するもの
業務の概要	児童心理治療施設の管理運営
成果指標	①退所児童の家庭復帰後半年間の現況把握率 ②苦情解決第三者委員会による苦情解決率
目標	①100% ②100%
指定管理者名	（社福）聖家族の家
指定期間	平成26年4月1日～令和3年3月31日（8年間）
評価対象期間	令和2年度分

2 管理運営の成果・実績

成果指標	①	②
数値目標	100%	-
年度実績	100%	-
達成率	100%	-

利用状況（各年度3月1日時点）

	前年度	2年度	前年度比
利用人数	27	21	-6
稼働率	73.0%	65.6%	-7.3%

3 収支状況

収入		2年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	230,239,923	224,905,302	-90,845,077	入所児童数の減による
	計画	321,085,000	296,454,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
その他収入 （自主事業収入）	実績	2,506,748	2,724,863	2,506,748	
	計画	0	0		
合計	実績	232,746,671	227,630,165	-88,338,329	入所児童数の減による
	計画	321,085,000	296,454,000		

支出		2年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	165,133,728	149,046,898	165,133,728	
	計画				
管理運営費	実績	47,607,489	45,316,887	47,607,489	
	計画				
その他事業費 （自主事業支出）	実績	17,819,488	22,726,134	17,819,488	
	計画				
合計	実績	230,560,705	217,089,919	230,560,705	
	計画	0	0		

令和2年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価

(1) 成果指標の目標達成状況

評価項目	市の評価	特記事項
①	B	退所者支援担当職員を配置し（委託事業）適切に対応されたことにより、目標を達成している。
②	B	対象件数はなかった。

(2) 市費の縮減

市費縮減に係る取組状況	市の評価	特記事項
児童入所施設等措置費の基準に基づき業務代行量を支出しており、市費縮減については不可能	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	市の評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービス向上		
施設の管理運営	A	施設は別所属との複合施設となっているが所管部分において、日常的な点検整備を欠かさないことで、入所者の安全に配慮されており、ビル会議などにも積極的に参画いただいている。 併せて、措置費における加算職員等、処遇向上のための職員加配に積極的に取り組んでいる点は評価できる。
施設の維持管理		
職員の配置状況		
安全管理		
市民サービスの向上	A	施設内において家族療法事業を実施し、入所児童の家族も巻き込んだ心理療法の実施に取り組むなど家族機能の回復及び生活環境調整に取り組んでいる点など評価に値する。
利用者満足度調査		
サービス向上策の実施		
事業計画の実施状況	B	児童入所施設運営として適切かつ良好である。
事業の実施状況		
施設の有効活用	B	同種別の施設や、同圏域内施設との連携を通じて職員のスキルアップに努めたり新たな情報確保に努めるとともに、地域子ども会への参画など果たすべき役割を担っている。
地域との連携		
他施設との連携		
社会的責任・法令遵守	B	適切かつ良好である。
勤務労働条件の確保		
個人情報保護対策		
環境への配慮		
就職困難者の雇用		

5 外部専門家意見

<ul style="list-style-type: none"> ・保護者にも心理療法を提供する取り組みについては高く評価できる。 ・親子関係の深刻化に対して予防的な取り組みや地域へのアウトリーチなどもっと進めていただきたい。 ・苦情解決について国はアドボカシーの制度を検討しているため、こどもの想いを拾い上げる取り組みを期待したい。 ・市の評価は妥当である。
--

6 総合評価

評価項目	評価	所見
成果指標の目標達成	B	目標達成してくれている。
市費の縮減	B	児童入所施設措置費を運営財源としているため、市費縮減は不可能である。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	A	家族療法事業に取り組むなど、児童心理治療施設の果たすべき役割を担ってくれている。今後も親子関係の深刻化に対する予防的な取り組みなどの発展的な事業展開を期待したい。
施設の管理運営		
市民サービスの向上		
事業計画		
施設の有効活用		
社会的責任・市の施策との整合	B	適切かつ良好である。
総合評価	B	